

# 桶狭間の戦い

天下取りへの第一歩



一五六〇年、駿河の国（今の静岡県）の大名・今川義元が、二万五千人の大軍で、織田信長のいる尾張の国（今の愛知県）にせめこみしました。信長の軍はわずか三千人。だれもが信長は負けると思っていました。

出発の朝、信長は「人間五十年」という言葉で知られる「敦盛」（日本伝統のおどり）をまい、立ったまま湯づけ（お湯をかけたご飯）を食べて馬に飛び乗ったと伝えられています。そして熱田神宮で勝利をいのり、戦場へと向かいました。

そのころ義元の本じんは、桶狭間山で休けい中でした。（ ）、とつぜんはげしい雨がふり出したのです。信長はこの雨にまぎれててきに近づき、雨が上がると同時に、本じんめがけて一気にせめかかりました。思いがけないこうげきにあわてた今川軍は大こんらんにおちいり、大しよの義元は織田軍の武士にうち取られました。

この勝利を決めたのは、義元のいた場所をつかんだ「じよほうの力」だったとも言われています。十倍近いてきをやぶった信長の名は全国に知れわたり、天下取りへの第一歩となったのです。

## せんたく(1)

ぶんのように合うものはどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

- ① 信長は「敦盛」をまっしてから出発した
- ② 信長の軍は今川軍より多い
- ③ 信長は義元にうち取られた

## せんたく(2)

ぶんしよの（ ）に入る言葉はどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

- ① しかし
- ② つまり
- ③ すると

## きじゅつ(1)

いまがわよしもと 今川義元の軍は、およそ何人だったでしょう？

## きじゅつ(2)

のぶなが 信長は何にまぎれててきに近づいたのでしょうか？

## 漢字

かんじ 漢字に直して書きましょう。

(1) みずうみ

(2) みなと

(3) はたけ

こたえ

桶狭間の戦い  
おけはざま たたか

せんたく

(1) ①  
(2) ③

きじゅつ

(1) 二万五千人  
にまんごせんじん

(2) はげしい雨  
あめ

漢字  
かんじ

(1) 湖  
みづうみ

(2) 港  
みなと

(3) 畑  
はたけ